



小2の孫 時間を守らずゲームばかり

小学2年の孫がいます。男の子で、8歳の誕生日に欲しがっていたゲーム機をプレゼントしました。遊ぶ時間を守る約束はしましたが、始めると夢中になって話し掛けても返事もしません。食事の時間になっても「すぐにはやめられない」と言っただけで、早々に済ませ、とにかくゲームです。時間を守らず、取り上げたり叱ったりすると、物を投げ付けたり床をどんどん蹴ったりと大変です。勉強にも身が入らず、九九も完璧ではありません。どうしたら時間を守って、適切に楽しむようになってくれるでしょうか。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー

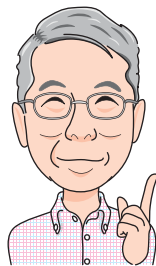


東松島市
70代・主婦
からの質問

●回答してくれた人

本間 博彰さん

ほんま・ひろあき 静岡市出身。医学博士。宮城県子ども総合センター所長などを歴任。東日本大震災後は被災地の子どもへのケアにも従事。2018年から星総合病院(郡山市)精神科部長。



ゲーム機を使ったゲームは、子どもだけでなく大人も面白く楽しめる遊びのようです。友達の間で共通の話題にもなり、仲間外れにされたくない子どもにとってゲームは大事なアイテムになっています。

問題になるのは、遊びを多く知らない子ども時代にゲームだけが遊びになり、他の遊びを身に付けられないまま大きくなることです。他の子とじかに触れ合う遊びは、心の力や人間関係の力を育みます。他の人と直接やりとりする楽しさを経験する一方、楽しさとは逆の悔しさ、惨めさに対処する力も育ちます。

遊びの持つさらに大事な効果として、人との付き合い方や相手の考えを知り、相手の意図を

最初の約束一緒に確認

読み取る力を得ることが挙げられます。ゲームやスマートフォンだけの毎日を送れば、社会を生きていくために必要な力がそがれる恐れがあります。

お孫さんはゲームを続けたいあまり、駄々っ子を押し通そうとしているようです。大事なものはゲーム機を与えた際の約束をもう一度確認し、多少の修正はあってもきちんと守らせることです。駄々っ子の勢いに負けると、今後も要求そのものより幼さによる駄々っ子ぶりに屈してしまう懸念があります。

もう一つ大事なこととして、例えば外で友達と体を動かすといった、ゲーム機以外の遊びを楽しむ機会もつくってあげましょう。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社
こども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp

